

stepsocio児童発達支援事業評価表

配布数	56
回答数	51
回収率	91%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	50			1	<ul style="list-style-type: none"> ・人数に対して丁度良い広さだと思う。 ・活動内容によって部屋が別れていて十分なスペースがあると思う。 ・十分な活動スペースが確保され、一人一人に手厚いサポートがされていると思った。 ・十分な広さがあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積 : 1525.35㎡ ・建物延べ面積 : 356.12㎡ ・療育フロア : ①54.8㎡ ②47.51㎡ ・広さは十分にあるが死角がある為、安全面に十分に配慮していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	45			6	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人をよく見てくれている。 ・集団での療育の中でも個人をよく見てくれて安心して いる。 ・先生の人数も多く子どもの特性を理解して対応してく れている。 ・毎回詳しく教えてくれているので良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者1名 ・保育士:3名 ・児童指導員3名 ・作業療法士1名 ・臨床心理士による発達検査を必要に応じて行っ ています。 ・内部研修の実施・外部研修への参加しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	42	1		8	<ul style="list-style-type: none"> ・絵等でわかりやすく表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・津山市「人にやさしいまちづくり条例」に適合。 ・入口にスロープ及び手摺を設置しています。 ・室内はバリアフリーです。 ・子どもが気になる物は隠しすなど配慮したいと思います。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	48	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・過ごしやすい空間だと思う。 	
適切	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(※1)が作成されているか	51				<ul style="list-style-type: none"> ・いつも色々なことに挑戦させてもらい本人の刺激になっ ている。 ・保護者が思う課題と療育での様子をふまえて計画し てくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ABC分析などにに基づき、ケアプラン会議を職員間で行 い、保護者と面談の上、個別支援計画を作成して います。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達ガイドラインの「児童発達の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	47	2		2	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的でわかりやすい。 ・毎回活動内容やねらいが具体的に記されていて子ど もに応じた支援内容が設定されていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインについてホームページ等で保護者に閲覧 していただける方法を検討していきます。

な支援の提供

⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	49	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った内容だと思う。 ・いつも丁寧に支援してくれるので助かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在籍園・家庭・ソシオでの姿からお子様の課題を分析し、活動を設定しています。 ・担当スタッフだけでなく、職員間でも具体的な活動や支援の振り返りを行っています。
⑧	活動プログラム(※2)が固定化しないように工夫されているか	50			1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも工夫されている。 ・お気に入りのプログラムは、家で本人が先生役となって再現して遊ぶほど楽しんでいる。だんだんプログラムをステップアップしてもらえているので本人が成長していることが親側にもよく伝わりありがたい。 ・毎週違うプログラムで子どもは楽しみながら取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間でケアカンファレンスを実施、お子様の状態に合わせて課題プログラムを立て、より良いサービスの提供ができるようにしています。 ・所外研修に参加し、得た知識や情報を取り入れながら、サービスの向上を目指しています。
⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	29	2	2	18	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園が遠い為交流は難しかった。 ・基本は保育園に行っているので気にならない。 ・普段は保育園に通っているため交流できている。 ・いろんな子達と交流があるためとても良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の大半が保育園や認定こども園、幼稚園に在籍しており、施設以外の子どもと関わる機会が日常的にあるため、移動時の子ども達の負担軽減や療育内容の充実のほうを重視して考えています。

保護者への説明等

⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	50			1	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な説明がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営規定に基づき、契約時に説明。利用契約時に契約書などで利用者負担など説明をしています。
⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	46	1		4	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な説明がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインについてホームページ等で保護者に関覧していただける方法を検討していきます。
⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※3)等)が行われているか	31	5	3	12	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ではどうしたらよいかわからなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多機能型事業所socioと合同で年中児・年長児の保護者様を対象に就職準備ガイダンスを実施し、就学までの流れや身につけておきたいスキルなどを話し合います。 ・土曜育児相談は現在コロナ対策として休止していますが、今後再開を検討していきます。
⑬	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	48	3			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との交流には参加しなかった。 ・一緒に成長を喜んでくれたり新しい課題を見つけてくれたり信頼しきっている。 ・送迎時に先生と話ができている。 ・連絡ノートに状況を丁寧に書いて下さりよくわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートやお迎え時に事業所での過ごし方を伝えたり、園や家庭での過ごし方、課題などを話合う機会があります。 ・連絡帳や懇談を通じて、活動時の姿や課題、成長、対応方法などを伝え合い、保護者様と共通認識できるようにしていきます。
⑭	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等支援が行われているか	45	4		2	<ul style="list-style-type: none"> ・面談はなかった。 ・いつも声をかけてもらったり相談に乗ってもらって感謝している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の面談を行ったり、在籍園を含めたケース会議にも積極的に参加しています。課題があれば、都度面談を呼び掛けています。
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	28	3	3	17	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナなので難しいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後デイでは、夏祭りなどのイベントを実施。保護者のみを対象とした大人のsocioがコロナ対策で休止していますが、R4.1～再開の予定です。

	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応しているか	45	3		3	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなことでも親身になって聞いてくれて嬉しい。 ・子どもの直したいところがあることを相談するとすぐアドバイスがもらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情の受付(契約書第13条関係)を説明。責任者・受付窓口・第三者委員を決めている。公的機関の苦情窓口である各市町村と連携しています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	46	4		1	<ul style="list-style-type: none"> ・行きは預けるだけなのでこちらの意見は伝えにくい。情報はよくわかるよう伝えてくれる。 ・しっかりされていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートやお迎え時の懇談、LINE連絡等で情報伝達を行っている。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、体制連絡等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	40	2		9	<ul style="list-style-type: none"> ・行事予定の発信はよくされている。 ・発信されていると思うがもう少し見やすく工夫されるとさらに良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HopStepJumpを年間数回発行している他、一括送信LINEでも情報を伝えている。 ・ホームページは随時更新できるようにしていきます。 ・自己評価はホームページで開示している。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	47			4	<ul style="list-style-type: none"> ・されていると思う。 ・不満はない。 ・しっかり守られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に個人情報同意書の説明を行っている。職員も個人情報の取り扱いには十分に注意するよう教育を行っています。 ・名簿など個人情報は人の目につくところに置かず、細心の注意を払って管理します。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているかまた、発生を想定した訓練が実施されているか	25	3	1	22	<ul style="list-style-type: none"> ・週に1回の利用なのでわからないが十分スタッフもいるので緊急時も不安はない。 ・コロナ対応しっかりしていた。 ・ノート(連絡帳に記載)になっていない為わからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応マニュアル・防犯防災マニュアル・感染症マニュアルを作成し、不審者対応訓練等も実施しています。簡単ではあるが、契約時にマニュアルについて触れている。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	3	2	22		<ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアルを作成し、施設での避難誘導・通報訓練を実施しています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	43	5		3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週楽しみにしている。 ・いつも楽しみにしている。 ・最近少し小言を言っている。 ・とても楽しみにしている。行ける日を心待ちにしている。 ・毎回楽しみにしている。(会いたい友だちがいるらしい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングではあるが、利用児にとっては楽しい活動(遊び)と思っていただけるように今後も工夫していきたいと思います。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	48	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・とても満足している。 ・感謝している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しい中継続して通ってくださっている保護者様に「通ってよかった」と思っていただけのように今後も職員一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

※1 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されていることが想定されている。

※3 保護者は子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とする。